

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公開番号】特開2001-269105(P2001-269105A)

【公開日】平成13年10月2日(2001.10.2)

【出願番号】特願2000-86835(P2000-86835)

【国際特許分類】

A 01 M	1/04	(2006.01)
A 01 M	1/14	(2006.01)
A 01 M	1/20	(2006.01)
A 01 M	29/00	(2006.01)

【F I】

A 01 M	1/04	Z
A 01 M	1/14	V
A 01 M	1/20	G
A 01 M	29/00	N

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月12日(2006.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、エアゾール、粉剤、噴煙剤等の殺虫剤を使用した害虫防除方法や、外部からの電力供給によって発光する発光体を利用した害虫防除方法等が用いられている。例えば、発光体を利用した害虫防除方法においては、豆電球を発光させて、その光に誘引されてきた害虫を捕獲する方法等が知られている。光源としては豆電球の他に、白熱電球、蛍光灯等も用いられている。また、蓄光性蛍光物質を光源に用いた害虫防除方法もある。